

豊田市

移動支援ポータルサイト「みちなびとよた」を活用した
大規模イベント開催時の円滑な観客輸送の取組について

(豊田市)

○概要

豊田市では、市内公共交通の乗り換え検索や、市営駐車場の満空情報などを掲載する豊田市移動支援ポータルサイト「みちなびとよた」を運営している。そのポータルサイトを活用した大規模イベント時の円滑な観客輸送に関する取組を以下に紹介する。

○この取組を行うことにした背景/理由

豊田市中心市街地で大規模なイベント等が開催される際、中心市街地駐車場の混雑や交通集中による道路渋滞が課題となっているなかで、自家用車利用から鉄道やパーク&バスライドへの来場方法の転換を目的とし、過去イベントでの混雑状況を加味した所要時間情報を利用者に提供することで、来場者各自に最適な交通手段や出発時間を選択してもらうため。

○取組内容

最初の検証として、2018年11月20日に豊田スタジアムで開催されたサッカー日本代表戦時の情報提供ページの改修作業を実施し、特設ページを作成した。

利用者は特設ページへのリンクをクリックすることで、今回新規でページの作成を行った「アクセスインフォメーション」にアクセスできる。

「アクセスインフォメーション」では、「パーク&バスライド」、「電車」、「車」の3つの選択肢の中から任意の交通手段を選択することができ、出発地からイベント開催地である豊田スタジアムまでのアクセス方法が表示される。

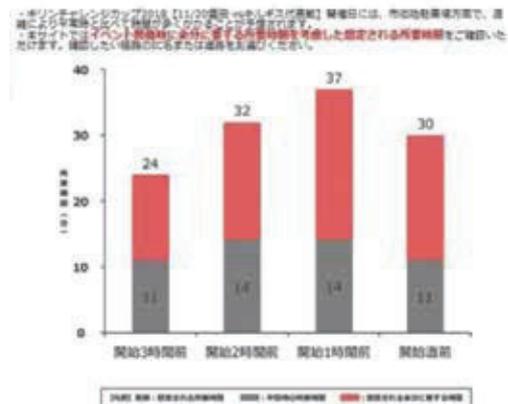


「パーク&バスライド」を選択した場合には、イベント実施に伴い開設されるシャトルバスの帰着点となる臨時駐車場へのアクセス方法を豊田市周辺の高速道路ICより案内し、駐車場への案内図を掲載した。

「電車」を選択した場合には、豊田スタジアムの最寄り駅である名古屋鉄道と豊田市駅及び愛知環状鉄道新豊田駅からの徒歩ルート及び所要時間を掲載した。

「自動車」を選択すると、周辺の高速道路ICから豊田市中心市街地駐車場までのアクセス及び所要時間が表示される。この所要時間には、過去豊田スタジアムで大規模イベントが開催された際の交通集中による渋滞で実際に余計に掛かった時間を追加して表示しており、視覚的に中心市街地の道路が通常時に比べ混雑していることがわかる。また、地域道路経済戦略研究会中部地方研究会より民間プローブ及びETC2.0の情報提供を受け、民間プロ

ブは中心市街地道路における混雑状況の把握に使用し、ETC2.0は中心市街地までの所要時間の把握に使用した。



○効果検証

今回の取組における効果検証は、Google アナリティクスを活用しログを収集した。

取得したログより、本アクセスインフォメーションへのアクセスのうち6割がモバイル端末からのアクセスであり、参照元としてはリンクバナーを貼付した豊田スタジアムのホームページから99%を占めた。加えて、アクセスインフォメーションの公開が代表戦の1週間前であった中で、約1,400件のアクセスを記録し、試合前日及び当日のアクセスが全体の6割を占めた。

また、アクセスインフォメーションページ及びイベント当日に豊田スタジアムで実施したアンケート調査では、当初自家用車での来場を検討していた来場者の約6割がパーク&バスライドでの来場を検討し、情報提供により自家用車を選択していた来場者に対し、交通手段の変更を促すことができた。

○今後の展開/期待される効果

今年度作成したアクセスインフォメーションでは、それぞれの交通手段における固定情報の提供にとどまったことから、利用者へのアンケート調査での追加要望の上位に挙げられた出発地をユーザーが指定する任意地点からの経路検索及び所要時間の検索機能を追加する。

豊田市では2019年度にラグビーワールドカップが開催されることもあり多くの来訪者が中心市街地を訪れることが想定される。その中で、渋滞の緩和やイベントに訪れる方にとって有意義な情報の提供に努めていく。